



クルーズ振興に向けた
瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組みについて

令和5年7月31日

瀬戸内海クルーズ推進会議

(一社) 中国経済連合会 常務理事 山本晋司



瀬戸内海クルーズ推進会議の目的と体制



設立の目的（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第2条）

○我が国におけるクルーズが進展しつつある中、瀬戸内海や瀬戸内海を囲む諸港、諸地域において、瀬戸内海独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並びブランド力の高いクルーズの海（※）となることを目指し、また、その取組みを通じて当該海域・地域の振興を図るとともに世界に誇れる主要な観光圏としての地位向上を目的に設立。

※「明日の日本を支える観光ビジョンー世界が訪れたい日本へー（平成28年3月20日）」での施策集において“日本の各地をカジュアルからラグジュアリーまで幅広く対応したクルーズディステーションに～瀬戸内と南西諸島を日本のエーゲ海・カリブ海に～”との言及もあり。

推進会議の体制（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第11条、12条、13条）

○瀬戸内海クルーズ推進会議は、重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体、民間団体、国の機関から構成される『全体会議』及び近畿・中国・四国・九州の各エリアに係る構成員から構成される『エリア会議』から構成。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内海クルーズ推進会議 代表：清水中国経済連合会会長（中国電力会長）、副代表：佐伯四国経済連合会会長（四国電力会長）

全体会議

総括事務局：中国地方整備局（港湾空港部）
事務局：近畿地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局（各港湾空港部）

【メンバー】

- ・重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・広域的活動する民間団体等
- ・国の機関（各地方整備局・運輸局）

【役割・取組内容】

- ・瀬戸内海の全体の課題整理
- ・瀬戸内海全体におけるクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及び全体の取組の進捗管理

【開催日】

- 第1回（平成30年12月13日）
- 第2回（令和元年5月23日）
- 第3回（令和元年11月12日）
- 第4回（令和2年7月14日）書面
- 第5回（令和2年12月21日）Web
- 第6回（令和4年1月28日）Web
- 第7回（令和5年1月30日）Web

情報共有



提案・報告

エリア会議

【メンバー】

- ・各エリアの重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・各エリアの民間団体等
- ・各エリアの地方自治体
- ・各エリアの国の機関（各地方整備局・運輸局）

【役割・取組内容】

- ・各エリアの課題整理
- ・各エリアのクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及びエリアの取組の進捗管理

近畿エリア会議

事務局：近畿地方整備局
（港湾空港部）

中国エリア会議

事務局：中国地方整備局
（港湾空港部）

四国エリア会議

事務局：四国地方整備局
（港湾空港部）

九州エリア会議

事務局：九州地方整備局
（港湾空港部）



瀬戸内海クルーズ推進会議 構成員名簿



「瀬戸内海クルーズ推進会議」構成員名簿（令和4年10月3日現在）

エリア	区分	構成員	
近畿エリア	重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体	大阪府 ★	
		大阪市 ★	
		兵庫県 ★	
		神戸市 ★	
		和歌山県 ★	
	地方自治体	堺市	
		貝塚市	
		高石市	
		岬町	
		姫路市	
		明石市	
		高砂市	
		南あわじ市	
		和歌山市	
		湯浅町	
		由良町	
		国の機関	近畿地方整備局 ★
			近畿運輸局 ★
	神戸運輸監理部 ★		
	中国エリア	重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体	岡山県 ★
			広島県 ★
			呉市 ★
			山口県 ★
			地方自治体
		瀬戸内市	
		笠岡市	
		倉敷市	
		広島市	
竹原市			
三原市			
尾道市			
福山市			
東広島市			
廿日市市			
江田島市			
坂町			
宇部市			
防府市			
岩国市			
国の機関		中国地方整備局 ★	
		中国運輸局 ★	

海ネット会員

「瀬戸内海クルーズ推進会議」構成員名簿（令和4年10月3日現在）

エリア	区分	構成員		
四国エリア	重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体	徳島県 ★		
		香川県 ★		
		坂出市 ★		
		愛媛県 ★		
		今治市 ★		
		地方自治体	徳島市	
	小松島市			
	小豆島町			
	松山市			
	宇和島市			
	大洲市			
	四国中央市			
	新居浜市			
	国の機関		四国地方整備局 ★	
			四国運輸局 ★	
		九州エリア	重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体	下関市 ★
				福岡県 ★
	北九州市 ★			
	大分県 ★			
	地方自治体		別府市	
佐伯市				
津久見市				
国の機関	九州地方整備局 ★			
	九州運輸局 ★			
民間団体等	新居浜港務局 ★			
	(一社)中国経済連合会 ★			
	四国経済連合会 ★			
	(一社)せとうち観光推進機構 ★			
	(一社)日本プロジェクト産業協議会 ★			
	関西エアポート(株)			
	公益財団法人 大阪観光局			
	(一社)イーストとくしま観光推進機構			
	小豆島クルーズ船誘致の会			
	四国ツーリズム創造機構			

海ネット会員

その他

★は全体会議の構成員



瀬戸内海クルーズ推進会議の方針・進め方



広域連携による戦略的な誘致活動の実施【継続・一部提案】

- クルーズ船社への誘致活動に加え、クルーズ船社、ランドオペレーター等の招聘活動（現地視察）の実施。
 - ・瀬戸内海を更に活かしたクルーズプラン構築や瀬戸内海沿岸の観光コンテンツをさらに把握したいと考えている社を招聘。
 - ・瀬戸内海クルーズ推進会議の構成員によるプレゼンを実施（併せて希望する社に対して現地視察を実施）。

◆クルーズ船社のニーズにマッチし、より効果的な誘致活動の実施。

※船社等の意見を踏まえ、寄港地が個別ではなく、連携した誘致活動を継続する。

※瀬戸内エリア（広島）に船社等を招聘した誘致活動及び現地視察を行う従来の手法に加え、船社等のオフィスが集中する東京において誘致活動を行う手法についても検討し、より効果的な誘致活動を実施する。

魅力的なクルーズプランの提案【継続】

- 瀬戸内海クルーズ推進会議として連携した“おすすめクルーズプラン”の提案。

・誘致活動などで得られたクルーズ船社の要望などを踏まえ、複数の瀬戸内海クルーズプランを作成・更新。誘致活動等で船社側に提案。

◆瀬戸内海における大規模交流イベント開催に向けたクルーズ企画の検討と検証。

※クルーズ船社などの意向を踏まえ、大阪万博、瀬戸内国際芸術祭の開催に関連したクルーズ企画についての検討・検証。

◆寄港地からの周遊エリア拡大方策の検討とクルーズプランの拡充。

※寄港地周辺や観光地に集中しがちなクルーズ客を、MaaSの活用等により広範囲に誘客する方策を継続検討し、クルーズプランを拡充。

戦略的な情報発信【継続・一部提案】

- 船社向けの瀬戸内海クルーズPR動画、瀬戸内海クルーズガイド、瀬戸内クルーズHPの有効活用。

- 瀬戸内海クルーズ推進会議によるシートレードクルーズグローバルへの参画。

・JNTOのクルーズ誘致プロモーション事業と連携、瀬戸内海クルーズガイド等を活用したプロモーション。

◆「瀬戸内海クルーズガイド」及び「瀬戸内クルーズHP」アップデート。

※アップデート（各港施設・観光情報等）に向けて、会員自治体からの最新情報、意見等を集約中。

◆シートレードクルーズグローバル2023 港湾情報パンフレットへの掲載。

※瀬戸内海クルーズのPR、瀬戸内海クルーズガイド及びPR動画へリンク誘導。



(公社)2025年日本国際博覧会協会との連携



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催に関連したクルーズ企画を検討すべく、公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会（万博協会）と連携。「クルーズセミナー ～地域連携によるクルーズ振興～」において、大阪・関西万博を契機とした観光推進の取り組みとして話題提供がなされた。

万博を契機とした新たな周遊ルートの形成（海路を活用した周遊ルート）



(1) クルーズ船の誘致

- 港湾関係者等と連携した、大阪・関西へのクルーズ船誘致活動を実施中（船社への万博の魅力PR等）
- 定期航路と連携した「海の万博」への海路での来場を促進（受入体制の整備）
 - ・近隣には大型船が着岸可能な天保山岸壁あり
 - ・万博隣接地に船発着想定場所を設置予定(100トン級)
 - ※天保山岸壁は2023年度に超大型クルーズ（22万t級）に対応できるよう大阪港湾局が拡張工事中



(2) 船客向け万博ツアーの造成

- クルーズ・フェリー乗船者向けのツアーや万博を含めた魅力的な観光商品を造成（船社・旅行会社様等と連携）
 - ・海路上での魅力的な観光素材の整備、連携（瀬戸内芸術祭等）
 - ・寄港地での魅力的な観光商品造成
 - ・「フライ・レール&クルーズ」など様々な交通機関と連携した新たなルート整備による広域周遊促進

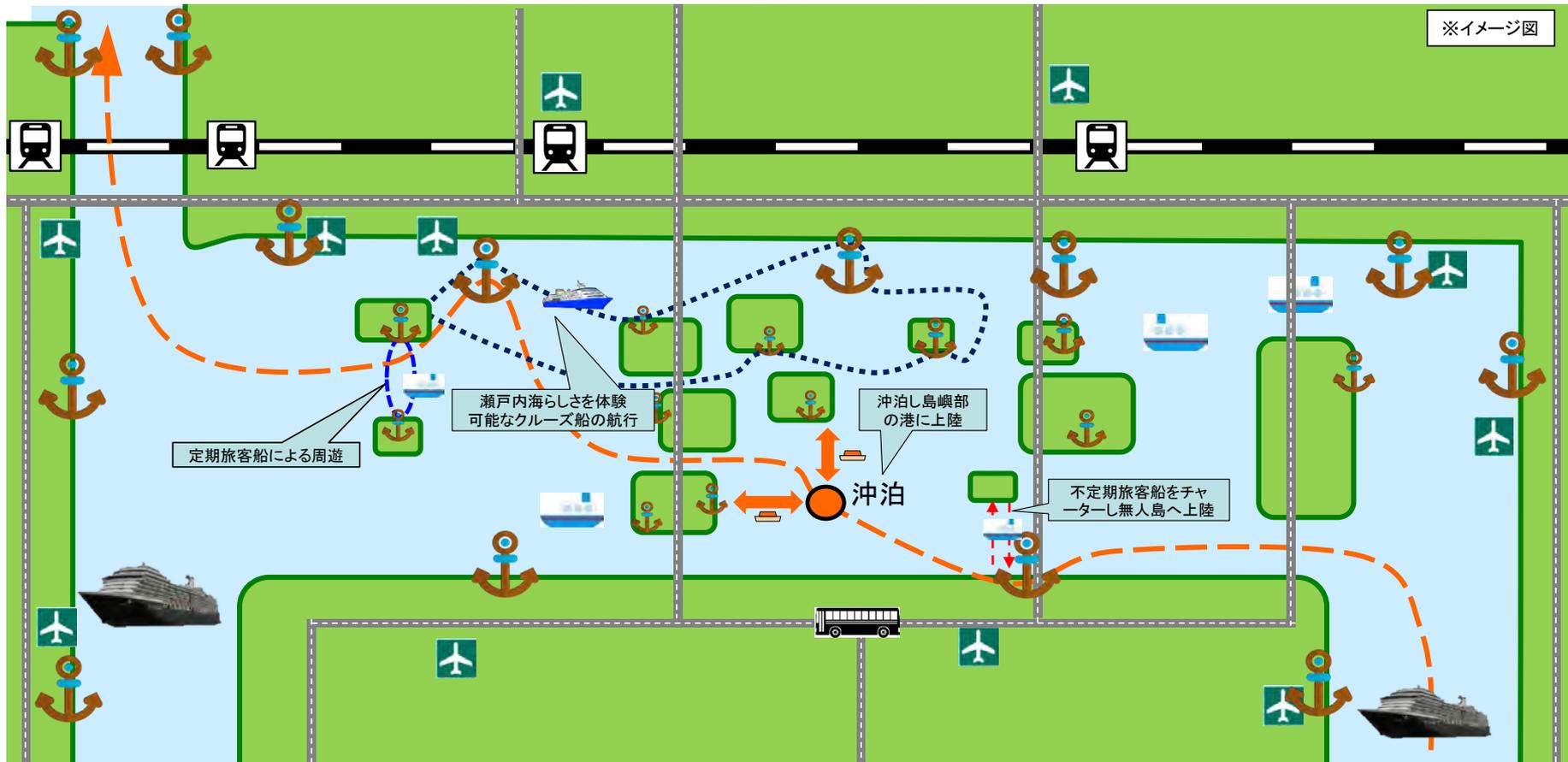


瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第1回・第2回)

○第1回 平成30年12月13日 開催

- ・瀬戸内海クルーズ推進会議の目的と運営体制、クルーズ推進の課題抽出と取組（案）ほか

瀬戸内海クルーズの目指すクルーズイメージ



○第2回 令和元年5月23日 開催

- ・瀬戸内海クルーズ推進会議における具体的な取組み ほか

- ・取組①: 港湾での受入環境改善
- ・取組②: 港から観光地へのアクセス性向上
- ・取組③: 瀬戸内海クルーズとしての情報発信
- ・取組④: 船社への誘致活動
- ・取組⑤: クルーズ船の寄港に関するサポート体制の充実



瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第3回)



○第3回 令和元年11月12日 開催

- ・具体的な取組について目標設定
- ・瀬戸内海クルーズ推進会議による誘致活動

瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの策定

広域連携による戦略的な誘致活動の実施

○クルーズ船社への誘致活動に加え、クルーズ船社、ランドオペレーター等の招聘活動の実施。

※瀬戸内海を更に活かしたクルーズプラン構築や瀬戸内海沿岸の観光コンテンツをさらに把握したいと考えている社)を招聘。

※瀬戸内海クルーズ推進会議の構成員によるプレゼンを実施(併せて希望する社に対して現地視察を実施)。

魅力的なクルーズプランの提案

○瀬戸内海クルーズ推進会議として連携した“おすすめクルーズプラン”の提案。

※クルーズプラン作成のためのチームづくりを実施。

※誘致活動などで得られたクルーズ船社の要望などを踏まえ、瀬戸内海クルーズプランを何パターンか作成。今後の誘致活動、シートレードなどで船社側に提案。

戦略的な情報発信

○船社向けの瀬戸内海クルーズPR動画の作成・更新。

※まずは各自治体で保有している観光PR動画などを再編集、瀬戸内海クルーズ用に作成。

○瀬戸内海クルーズガイドの作成・更新。

○瀬戸内海クルーズ推進会議によるシートレードグローバル(マイアミ)への参加。

※瀬戸内海クルーズガイドとPR動画を活用したクルーズ船社へのアピール。



【目指すべき将来像】

広域連携による瀬戸内海クルーズのブランド力の向上

(瀬戸内海クルーズ800隻時代を見据えて)

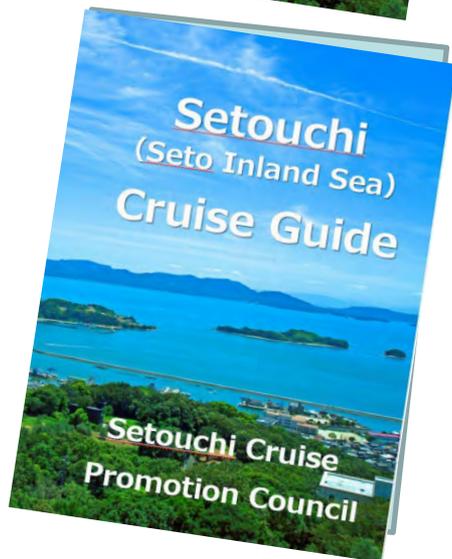
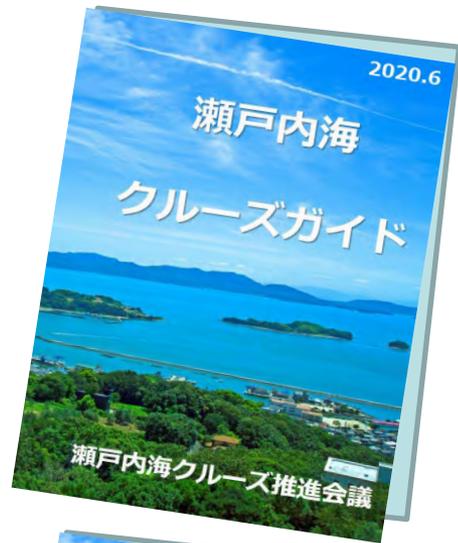


瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第4回)



○第4回 令和2年7月14日

- ・瀬戸内海ガイドブック及びPR動画の完成報告



瀬戸内海PR動画 (YouTube)

瀬戸内海クルーズガイドブック
(日本語版&英語版)



瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第5回)



○第5回 令和2年12月21日

・クルーズ船社の招聘および誘致活動に関する報告

※なお、クルーズ推進会議では令和元年9月の第1弾を皮切りに、昨年度第6弾の誘致活動（商談会）を実施！





瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第6回)



令和4年1月28日、アフターコロナにおける瀬戸内海クルーズの再興及び更なる振興を目指し、「瀬戸内海クルーズ推進会議」の第6回全体会議をオンライン開催。※会議には、近畿、四国、中国、九州地区より、瀬戸内海沿岸の自治体、国の機関、民間団体等の約100名が参加。

開催概要

【開催日】 令和4年1月28日15:00～16:45

【場所】 港湾空港部会議室 オンライン会議
(Microsoft Teams)

【次第】

開会挨拶

(1) 今年度の活動報告及び今後の予定 (推進会議事務局)

(2) 最近のクルーズの動向について (国交省港湾局)

(3) 海外の旅客ターミナル等における
新型コロナウイルス感染症対策
(一財) みなと総合研究財団

(4) 観光型MaaS「setowa」 取組み紹介
(JR西日本デジタルソリューション本部)

(5) 瀬戸内クルーズネットワーク構想
(一社)日本プロジェクト産業協議会

(6) 本四高速の地域連携への取組
(本州四国連絡高速道路(株))

(7) 意見交換

<全体会議の主な内容>

【海外のターミナル等における感染対策 (みなと総合研究財団)】

✓ 各国ターミナルの感染対策、各国及び国際機関発出のガイドライン、オミクロン株の影響によるクルーズ動向及び市場の見通しについて紹介。

【観光型MaaS「setowa」 (JR西日本デジタルソリューション本部)】

✓ setowaのMaaSアプリにより、利用者は人気スポットや観光モデルコース等の情報が得られるとともに、経路検索結果からの各種予約、周遊パス等の購入が可能。エリア拡大、商品拡充も進み、利用者が大幅に上昇している。

✓ setowaに参画する事業者は、チケットの電子化(キャッシュレス化)、利用者の各種データ(移動データ等)の入手等のメリットがある。

【本四高速の地域連携の取組 (本州四国連絡高速道路(株))】

✓ インフラツアーやSA/PAを拠点とした地域連携のみならず、塩飽(しわく)諸島をはじめとする島旅の活性化、サイクリングルートのネットワーク化等、様々な取り組みを実施中。



観光型Maas「tabiwa」の取組(西日本旅客鉄道(株))



MaaSアプリにより、利用者は人気スポットや観光モデルコース等の情報が得られるとともに、経路検索結果からの各種予約、周遊パス等の購入が可能。エリア拡大、商品拡充も進み、利用者が大幅に上昇している。

観光型MaaS「tabiwa by WESTER」②

JR 西日本旅客鉄道株式会社
West Japan Railway Company

2



- 地域の交通課題の解決やストレスフリーな移動の手段として、様々な公共交通を1つのサービスとして捉え、移動手段・経路の検索から予約、決済、利用までをスマートフォン等で一元的に提供するサービス (=MaaS) の取組みが日本各地で実施されている。
- JR西日本では、2019年10月～2020年3月まで観光型MaaS「setowa」の実証実験を広島県東部を中心とするせとうちエリアで実施。
- 2020年9月末、実証実験で判明した課題を踏まえて、「setowa」をリニューアルして再リリース。2021年9月にせとうちエリアに加えて四国全域を対象エリアに追加。
- 2022年11月に「setowa」を「tabiwa by WESTER」にリニューアル。対象エリアに北陸エリアを追加。



【対象エリア】

富山県、石川県、福井県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、新潟県糸魚川市、長野県大町市・白馬村・小谷村、島根県邑南町・津和野町

tabiwaに参画する事業者は、チケットの電子化(キャッシュレス化)、利用者の各種データ(移動データ等)の入手等のメリットがある。

「setowa」の主な機能

JRI 西日本旅客鉄道株式会社
West Japan Railway Company

3



① 話題のスポット紹介、お気に入り登録

せとうち・北陸エリアの話題のスポットやモデルコースを多数ご紹介。行きたいスポットをお気に入り登録できます。

2万箇所以上のスポットと
40以上のモデルコースを掲載!

② 便利な予約機能

鉄道やホテル、タクシー、レンタカー、レンタサイクル各社のサービスへ連携。「tabiwa」から旅に必要な様々な予約が可能です。

さらに、経路検索結果から旅のスケジュールを作成することができます。



③ 安心・おトクな「tabiwa周遊パス」「tabiwaチケット」

JR、バス、船舶など指定の交通機関の乗り放題と観光施設の入館券をセットにした「tabiwa周遊パス」や、地元おすすめの観光・体験スポット等が利用できる「tabiwaチケット」を多数設定。

窓口にはばなくても、キャッシュレスでチケットを購入いただけます。チケットの利用はスマートフォンの画面を見せるだけ!

本四高速の地域連携への取組

インフラツアーやSA/PAを拠点とした地域連携のみならず、塩飽諸島（しわくしょとう）をはじめとする島旅の活性化、サイクリングルートのネットワーク化等、様々な取り組みを実施。

1. インフラツアーの更なる推進

「瀬戸内企業」として、さらに「インフラ経営」の観点から、世界に誇る長大橋群を活用し、地域への集客を促進します。

(1) JB本四高速のインフラツアー

2021年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底し、旅行会社主催ツアーを実施。

明石海峡大橋ブリッジワールド
2005年常設化
2019年度(R1年度)13,407名がツアーに参加

明石海峡大橋

大鳴門橋

E28 神戸安路鳴門自動車道

E30 瀬戸中央自動車道

瀬戸大橋スカイツアー
2019年常設化

瀬戸大橋

E76 西瀬戸自動車道 (瀬戸内しまなみ海道)

多々羅大橋

来島海峡大橋

来島海峡大橋
国土交通省の施策「インフラ
ツーリズム魅力増進プロジェク
ト」インフラツアーを活用した地
域活性化を目的として、2021年
10・11月に民間事業者によるモ
デル事業を実施。

[開催状況等] (R3年4月～11月)

ツアー開催回数	60回
一橋別内訳	
明石海峡大橋	33回
瀬戸大橋	24回
大鳴門橋	3回



EV抗菌施工



ソーシャルディスタンス
の確保

インフラツアーやSA/PAを拠点とした地域連携のみならず、塩飽諸島（しわくしょとう）をはじめとする島旅の活性化、サイクリングルートのネットワーク化等、様々な取り組みを実施。

3. 島旅の活性化

瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化に取り組めます。

(1) 塩飽諸島における島旅の実施

塩飽諸島の自然環境、歴史・文化等の地域資源を活かした島々の周遊ツアーを実施します。



大橋（志々島）



海ごみ調査の座学



海ごみ調査



(2) 「瀬戸内島旅活性化研究会」の開催

香川大学とともに、行政、観光関係者、島民等が参加した研究会で、島旅コンテンツの充実を検討します。



瀬戸内島旅活性化研究会



インフラツアーやSA/PAを拠点とした地域連携のみならず、塩飽諸島（しわくしょとう）をはじめとする島旅の活性化、サイクリングルートのネットワーク化等、様々な取り組みを実施。

4. サイクリングによる地域発信

しまなみ海道や淡路島一周（「あわいち」）、四国一周など、瀬戸内地域に存するサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信します。

(1) 瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進

しまなみ海道、「あわいち」、海岸沿いや島々をめぐるコースなど、瀬戸内地域全体に存する多数のサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングで自在に周遊できるようにするとともに、瀬戸内地域が「サイクリングの推進エリア」となるように2025年の大阪・関西万博を目指して普及します。



(2) 「環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」の設置及びプロモーション等

ネットワーク化の推進に向けて、瀬戸内地域の地方公共団体や地方整備局、経済団体やサイクリングルートを管理・運営する主体などとともに「環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」を設置し、瀬戸内地域におけるサイクリング文化やEバイクの普及・促進を支援する各種活動を展開するとともに、世界に誇るサイクリングルートを有する瀬戸内地域を国内外に向けて発信し、インバウンドも含め世界中のサイクリストが集う地域となるよう、取り組んでまいります。

環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会





瀬戸内海クルーズ推進会議の取り組み(第7回)



令和5年1月30日、アフターコロナにおける瀬戸内海クルーズの再興及び更なる振興を目指し、「瀬戸内海クルーズ推進会議」の第7回全体会議をオンライン開催しました。※会議には、近畿、四国、中国、九州地区より、瀬戸内海沿岸の自治体、国の機関、民間団体等の約120名が参加。

開催概要

【開催日】令和5年1月30日(月) 13:30~14:50

【場 所】合庁副局長室 オンライン会議 (Microsoft Teams)

【次 第】

開会挨拶

- (1) 今年度の活動報告及び今後の予定
(推進会議事務局)
- (2) 最近のクルーズの動向について (国交省港湾局)
- (3) せとうちDMOの取り組み
(一社)せとうち観光推進機構)
- (4) 意見交換
 - ・瀬戸内海島しょ部における快適な観光実現
(広島県)
 - ・瀬戸内クルーズネットワーク構想
(一社)日本プロジェクト産業協議会)

<全体会議の主な内容>

【瀬戸内DMOの取り組み(瀬戸内観光推進機構)】

- ✓ 瀬戸内の魅力を再発見し、エリア化からルート化への取り組みを紹介。
- ✓ せとうちを4つのゾーンに分け、地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けた周遊ルートの紹介。

○意見交換

【瀬戸内海島しょ部における快適な観光実現(広島県)】

- ✓ MaaSアプリを活用した島巡りプランの選択肢を拡大する等の実証実験の実施について紹介。

【瀬戸内クルーズネットワーク構想(日本プロジェクト産業協議会)】

- ✓ 多島クルーズ事業のマッチング・事業化推進の機能を持つ、「島たびプラットフォーム」構築に向けた支援の要請。



瀬戸内海島しょ部における快適な観光の実現



瀬戸内海島しょ部における快適な観光の実現 (人流データを活用した新たなサービス)



新たなサービスの実装
による利便性向上



観光MaaSの充実



- ・地域や航路事業者の活性
- ・港湾施設の観光環境改善
- ・事業者の旅行企画造成

観光産業マーケティングに活用
港湾施設の利用状況の把握



新たな瀬戸内海観光航路



tabiwa
で予約



航路情報

航路	船名	船種	航路	船期	乗客定員	備考
1	瀬戸丸	高速船	岡山-瀬戸内	毎日	100	
2	瀬戸丸	高速船	瀬戸内-岡山	毎日	100	
3	瀬戸丸	高速船	岡山-瀬戸内	毎日	100	
4	瀬戸丸	高速船	瀬戸内-岡山	毎日	100	
5	瀬戸丸	高速船	岡山-瀬戸内	毎日	100	
6	瀬戸丸	高速船	瀬戸内-岡山	毎日	100	
7	瀬戸丸	高速船	岡山-瀬戸内	毎日	100	
8	瀬戸丸	高速船	瀬戸内-岡山	毎日	100	
9	瀬戸丸	高速船	岡山-瀬戸内	毎日	100	
10	瀬戸丸	高速船	瀬戸内-岡山	毎日	100	

県内の航路情報を集約

モニタークルーズ

潜在需要の発掘 (観光地, 日程)



- 米国フロリダ州マイアミにおいて開催された「Seatrade Cruise Global 2019」に瀬戸内海クルーズ推進会議（総括事務局：中国地方整備局）が参加。
- 日本政府観光局が設置するJAPANブースにおいて瀬戸内海クルーズの魅力を発信するとともに、同推進会議の関連港や本省港湾局産業港湾課クルーズ振興室と連携し、瀬戸内海への寄港の少ない船社を中心に、複数船社と面談を実施。
- ※ Seatrade Cruise Global：毎年春に米国フロリダ州で開催される世界最大のクルーズ見本市。各国クルーズ船社のキーパーソンや各国関係者（政府観光局、港湾管理者、船社等）が集結し、各参加者によるPR、商談会などのセールスが展開される。

Seatrade Cruise Global 2019において、各港と連携し、瀬戸内海クルーズを発信

- 【開催日程】平成31年4月8日(月)～4月11日(木)
- 【開催場所】米国フロリダ州フォートローダーデール Miami Convention Center
- 【主な参加者】各国政府観光局・港湾局、造船・船用メーカー、クルーズ・オペレーター、ツアーオペレーター 等

我が国からの参加団体（★：瀬戸内海クルーズ推進会議構成員）

青森県、秋田県、石川県・金沢市・(一社)金沢港振興協会、岩手県、**大阪市**、鹿児島県、京都舞鶴港、熊本県、高知県、**瀬戸内海クルーズ推進会議**、東京港、新潟県、**広島県**、福井県、伏木富山港、**山口県**、この他、国土交通本省港湾局、旅行会社等が参加

面談を実施した船社(6社)

- The Ritz Carlton Yacht Collection社
- Norwegian Cruise Line Holdings社
- ResidenSea Cruise社
- Holland America Line社
- TUI Cruises社
- MSC Cruises社

【面談した船社から得られた瀬戸内海クルーズの期待】

- 瀬戸内海への寄港実績が少ない船社もしくは寄港実績の無い船社であっても、瀬戸内海のポテンシャル・魅力は伝わっている。
- 個別の港への誘致も重要であるが、瀬戸内海クルーズのようにエリア単位として売り込むことも重要ではないか。
- 瀬戸内海クルーズとして各港が連携して誘致に取り組むことで瀬戸内海としてのブランド力も向上する。



JAPANブースの様子



鏡割の様子



船社と瀬戸内海クルーズ推進会議事務局の面談の様子



クルーズ船社によるセミナー



クルーズ業界で最も急成長していると言われる探検クルーズをテーマとしたセミナーを開催。探検クルーズとは、小型ラグジュアリークルーズ船（乗客定員100-300名程度）と同船に搭載するゾディアックボートの機動力を活かし、小さな港町、秘境、大自然等を巡るもの。

2023年には瀬戸内海での探検クルーズが検討されていることから瀬戸内海クルーズ推進会議としても誘致に力を入れており、当日は同会議メンバー等、約70名が参加。

開催概要 【瀬戸内海クルーズ推進会議 瀬戸内探検クルーズセミナー】

●日時：令和3年12月9日(木) 15:00～16:45 ●場所：中国地方整備局港湾空港部会議室（視聴者はオンライン形式で参加）



●セミナー概要：

1. 世界に広がる探検クルーズ (一般財団法人 みなと総合研究財団 権野氏)
2. ポナン探検クルーズの概要と検討中の2023年瀬戸内探検クルーズについて (ポナン 日本・韓国支社長 伊知地氏)
3. パネルディスカッション：「探検船を受け入れる自治体の取り組みと2023年瀬戸内探検クルーズ寄港予定地の紹介」
 (○沖縄県座間味村 宮里村長 ○福山市港湾河川課 中川氏 ○尾道市港湾振興課 西門氏 ○呉市港湾漁港課 檜垣氏)



ゾディアックボートによる上陸イメージ



ポナン社が予定している瀬戸内探検クルーズ



図 2023年瀬戸内エクスペディション（予定）及び上陸イメージ（鞆の浦）



- 整備局、港湾管理者、港湾所在市等が協力して誘致活動を行ってきたポナン社(仏)のエクスペディションクルーズについて、2022年2月、同社が2023年の商品として以下2件を販売開始した。
- 同社は2024年のエクスペディションクルーズ商品も3件を販売開始。

「北前航路をたどる旅」



■スケジュール

日次	日程	寄港地	入港	出港
1	4月11日(火)	小樽		17:00
2	4月12日(水)	終日航海	—	—
3	4月13日(木)	酒田	7:00	18:00
4	4月14日(金)	佐渡	7:00	18:00
5	4月15日(土)	富山	6:00	18:00
6	4月16日(日)	伊根	13:30	18:00
7	4月17日(月)	鳥取	13:00	17:00
8	4月18日(火)	萩	9:00	18:00
9	4月19日(水)	釜山(韓国)	7:00	12:00
10	4月20日(木)	門司	7:00	18:00
11	4月21日(金)	御手洗 鞆の浦	7:00 15:15	11:30 20:00
12	4月22日(土)	大阪	7:00	

「穏やかなる瀬戸内海」



■スケジュール

日次	日程	寄港地	入港	出港
1	5月15日(月)	大阪		18:00
2	5月16日(火)	犬島	7:00	18:00
3	5月17日(水)	鞆の浦 尾道	7:00 14:00	11:30 20:00
4	5月18日(木)	御手洗 下蒲刈	7:00 14:00	12:00 18:00
5	5月19日(金)	萩	12:30	18:00
6	5月20日(土)	対馬	7:00	18:00
7	5月21日(日)	麗水(韓国)	7:00	14:00
8	5月22日(月)	博多	7:00	



クルーズ船の誘致(御手洗初寄港)



令和5年4月21日(金)にポナン社(仏)の「ル・ソリアル」号が呉市御手洗沖に外国籍クルーズ客船として初寄港(テnderボートによる接岸・上陸)。当日は、地元特産のレモン、はっさく、みかんを使用したドリンクの提供や伝統的建造物群保存地区に指定されている街並みを散策されました。また、同船は4月18日(木)にも寄港。来年度も寄港予定のツアーを発売しており、今後も本船寄港をきっかけに外国人観光客の注目を浴びる見込みです。



- 本ツアーは、クルーズ推進会議のなかで、県境を跨ぐ複数の自治体が連携し、2020年1月から継続的に行った誘致活動(寄港地・観光資源・ルート設定等の提案)が実を結んだものと考えております。
- 北前船の寄港地を巡るたび(北海道～大阪:4/11～4/22)では、鳥取、萩、御手洗、鞆の浦の4箇所、穏やかなる瀬戸内海(大阪～博多:5/15～5/22)では、犬島、鞆の浦、尾道、御手洗、下蒲刈、萩の6箇所に寄港し、瀬戸内の島々にある歴史的な街並みや文化に触れて頂き、外国人観光客と地元の方々の交流等により地域活性化が図られたようです。
- ポナン社(仏)は、既に2024年エクスペディションクルーズを3件販売しており、クルーズ推進会議においても継続的な支援活動を行うとともに、新たなクルーズ船の誘致活動も引き続き行って参ります。



ポナン社「ル・ソリアル(10,992トン・旅客264人)」



鳥取港(鳥取県鳥取市)



尾道(広島県尾道市)



鞆の浦(広島県福山市)



犬島(岡山県岡山市)

○瀬戸内海クルーズ推進会議の中央要望

瀬戸内海クルーズに関する緊急要望

令和4年6月2日

瀬戸内海クルーズ推進会議有志一同

<要望概要>

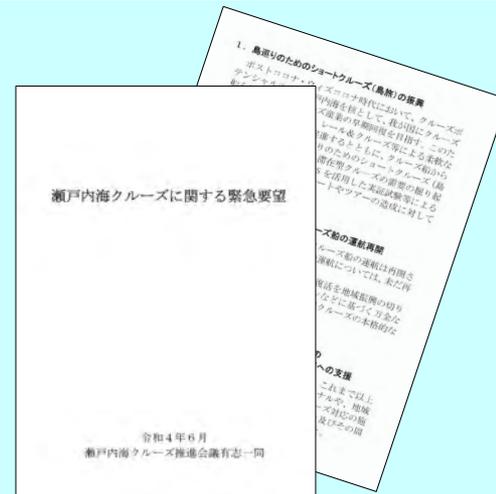
1. 島巡りのためのショートクルーズ(島旅)の振興
2. 瀬戸内海における外国籍クルーズ船の運航再開
3. 大型クルーズ船やショートクルーズ対応の施設整備への支援
4. クルーズや寄港地の安全性の積極的なPR



右から田邊 広島県副知事、浅輪 前国交省港湾局長、
苅田 瀬戸内海クルーズ推進会議 前代表



右から田邊 広島県副知事、金子 前観光庁国際観光部長、
苅田 瀬戸内海クルーズ推進会議 前代表



瀬戸内海クルーズに関する緊急要望(令和4年6月)